

開きては爲めに軍中に... 是れ艦隊の損失のみならず威名の損失なり... 艦隊の損失は軍に軍の損失なり他に何等の影...

官戦前の襲撃

我等は敢て二月八日に於ける日本の夜襲を... せんを欲するものにあらざるも其行動を執...

以て至大の幸福なりと爲さるべからず豈に... 艦隊の損失は軍に軍の損失なり他に何等の影...

戦機と政治組織

次いで起るべき問題は政府の組織は之に改良... 政治より云へば露國と日本は同一の條件に...

英國の政治組織と戦機

我等の要するは實に露國民政の此實例のみ... 之に比して過大なるを要せず又不及なるべ...

を防ぐの道なき勿論なりとす痴鈍に對しては... 神も亦如何ともするも能はざるなり英國の...

タイムスの軍事批評(七)

タイムスの軍事批評(七)

タイムスの軍事批評(七)

タイムスの軍事批評員が其二月十九日發行... の紙上に論じたる所左の如し

速島、朝霧の進撃

十四日早朝旅順口の港外陸地に於て露國艦隊... の遺棄に對し試みられたる攻撃は明智心と敢...

るなり此艦隊は共に八日の夜襲に加はらざ... りしものなるを以て此等の艦隊は前進マルニ...

に於ては十七日まで旅順口静穏なりしとの報... あると共に又十四日即ち二驅逐艦の進撃と試...

甲板上に破損したならば其は遂に其船に最後を與へざるべからず依りて思ふに彈は十二斤砲彈にして右艦砲艦の一の放ちたるものなりしなるべし

商船・禁制品の捕獲

以前の戦時於て捕獲したる他の日本の貨物凡て二十日には再び用ふるに足るべしと云ふ開戦前に豫想されたるが如く有能なる船渠設備を有するの便利既に大に日本に益せんとするの状を示し來りたるは之に依りて明なりとす露國艦隊に對する其成功に加ふるに日本は亦多數の露國汽船を捕獲するを得たり内には海上に於て之を捕獲したるものあり又日本は港内に於て捕獲したるものあり其日本港内に於て捕獲されたるものは即ち憲兵とされたる期日内に於て其所置を決する能はざりしものにして之が期日は十六日を以て盡きたり右捕獲汽船中には一萬五百噸の露國義勇艦隊汽船エカテリノスラウも包含し居れるもの如く此船にして若し之に損傷を與ふるを得ず捕獲され得たりとせば露國艦隊として蓋し貴重なる添加を得たるものなるべし水曜日(十七日)の本紙に載せたるロイドの報に據れば日本は又米國より東亞諸港に向はんとする汽船の捕獲を初めたりと云ふ此等汽船の報

荷は皆中立諸港に仕向けらるるものなり然れども日本は解釋して之を以て威嚇口を輪送するものなりと爲せり是に於て仕向地の名義を中立港に假るの策は即ち破れたり然れども日本は先づ之を以て佐世保の捕獲審檢所に附し以て其解釋の可否を確定せざるべからず六隻の露國軍艦去る十五日ホルチック海上瑞典のゴートランド沖に見られたりとの説は未だ確報に接せず此等の軍艦若しキール運河に向け進駐し居たるものなるに於ては其到着は今日までに於て早く報せられざるべからざる管なり是を以てか此報を確開なりとするには尙ほ之が詳報を待たざるべからず

日本の陸兵輸送

若々集めらるる船左の皆露國南方港灣より日本アーマダ(船隊)の迅速進駐し居れるを示すものたるは最早や一點の疑を容るるを要せず第一回の輸送に於て幾許の軍隊運搬されたるか又此等は何れに上陸したるか此點に至りては未だ充分に明白ならず唯確報に知られたるは強大なる前衛隊に依りて仁川、京城間交通線の占領されたるにありとす此行動は同時他の諸港に揚陸を行ふものと依りて要害の諸點及び諸陣地を占領するの目的を全くし以て其主力軍隊をして安全に集合するを得せ

しめたる事なるべし露國が此捕獲軍隊の多數を以て六萬人なりと傳ふるは果して誤らざるや否や未だ之を知るを得ず日本側にしては其多數を捕獲するを得ざるは其利益なるべし此一難事の既に成功したるが爲めにや日本の檢閲は少しく其嚴酷の度を緩むるに至れり此檢閲なるものは必要なるに相違なしと雖も亦頗る苦情多き事業たりざるを得ず檢閲の制漸く寛なるに至りてより通信員等は長崎に於ける準備につきて徐々漏す所あるに至れり即ち其云ふ所に従へば去る十五日に於て戦備を完成せる一師團の兵を輸送するに堪へたる十隻ばかりの大汽船同港に集泊し居たりとなり其他の南部諸港及び内海の諸港また等しく之が準備を有すとせば我軍は茲に其國民の目的を遂行せんが爲め巧に海陸一切の方便を合せて以て海上強大なる遠征軍を派遣し得る海國の勢力なるもの如何に強大なるかを實例に依りて實見せしめられんとするものなり

アのアーマダは果して何れの地に着岸せんとするか是は未だ想像の問題たり通信員等は之を以て鴨綠江なりとし若しくは尙ほ更に遼東半島に近接したる地點なりとするに似たり然れども遼東海及び朝鮮海海の極北中淡水の注流なる部分に於ては上陸の行動甚しく

流水に依りて妨げられざるを得ず何れにするも今既に目前に迫り居れる事件に對して徒に豫言の辭を弄するは無用の業たるを免れざるべし

露國は此際その敵の勢力と其決意とにつきて頗る憂慮し居れるものなり「敵の勇敢、沈毅にして且つ敏捷なるものたるを記憶せよ」とは露帝が實に其軍人に賜ひたる勅語にして「我等が敵は強大なり」とは亦總督の其宣言書に云へる所なりとす其哈爾濱に退却したりとの説あるもの即ち總督の之を斯く信じ居れる證なりと爲すべし (此の日所論未定)

タイムスの日露

戦争批評 (十二)

二月十九日所載タイムス軍事投書家所論の下半部は即ち露國の日本をしてナポレオンの覆轍を踏ましめんと欲するものなるを論じたるものにして其要領は露國に米國新聞に轉傳されたるものに依りて既に之が譯載を経たりと雖も其全文を擧げれば左の如し

露國報復の宣言

其實際上之を發揮するを得るや否や其は知るべからざる所なりと雖も兎に

露國の軍事顧問官等は海軍の災害に奮激して眞成に勇敢なる決心を爲したるが如き形跡あり即ち千八百十二年の吉例の戦術に依りて日本の進駐し來るに従ひ漸次村落市邑を破壊して内地に引退せんとする事是れなり而も其破壊せんとする村落市邑は清國の有なるを記せざるべからず露國は稱して曰く「旅順口の要塞には戒嚴令既に施行さるる必す之を以て露國の爲めに不落の砲臺たらしむべきなり」と我等は茲に附言せんとす史上既に多くの砲臺を知ると雖も未だ曾て不落の砲臺なるもの無しと尙ほ露國は之に大々に其新聞紙をして今朝別項に掲載したるが如き頗る異色あり且つ有る趣なる宣言を發表せしめたり其唱ふる所に據れば曰く露國の威嚴と權力とを耻かしめざるが如き打撃を以て之を日本に酬いんとするに尙ほ少ならずる時日を要す爲めに堅忍以て事局の進捗を待たざるべからざるなりと此宣言文は近々數行の中に於て兩回云々も徒に熱血を瀉ぐは露國の爲めに利あらず云々との事を曰へり見るべし露國が其現時據守せる陣地に對して將に下らんとする攻撃に抗するに堪へざるものなるを

此宣言にして若し之を以て日本に千八百十二年の轍を履ましめんとする露帝の意志を明白に其人民に告知するものならざれば其意

味や虚無たらざるべからず但し前昔吉例の國風戦術にして果して實際に之に依頼するを得ば其壯觀たる固よりなりとす爲めに新天地を開闢し一舉にして戦争の全局面に大變化を與ふるや必せり然れども露國は何すれどもモスコイ及びベルナの事變を回想するの疎なるや日本のフエーゾンザック若しくはセギエール(共にナポレオン部下の武將)果して其子孫の爲めに重ねて嚴冬敗退の苦を演じ滿洲の白雪下に又一の大軍隊を潰滅せしめ以て又一の帝國と一の帝王とを覆没せしむるを敢てするものなるや如何日本がナポレオンの過を再びするの機會頗る少なきものたるは直に之を知るべきを得べし第一には曰く日本には一のポナパートを有せず第二には曰く日本は更にクレムリン(モスコイ)より其勅令を發せんとするの欲望を有せず第三には曰く日本は他の一方に於て陣營を燃ける一の西班牙を有せず又脚纏せば之に抗し來らんとする一の普魯西又は埃地利を有せず尙ほ且つ海面を之に鎖せんとする一の御し難き英國をも有せざるなり露國にして一たび滿洲或は寧ろ滿洲の一部を放棄するを得れば最早や東洋のポロヂノ(モスコイ附近のナポレオン古戰場)を經るも經ざるも關する所ならざ事既に足り日本の